



成果指標				
成果指標	結成率から進捗度を測定する。(目標)市内小学校8校での少年消防クラブ結成。(実績)結成5校。			
指標設定の考え方	幼少期からの防火防災意識を芽生えさせることが肝要であり、市内小学校全てでの結成を目指し、併せて活動内容の充実に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	890	890	0	0
実績	890	890	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防団及び婦人防火クラブ等は、地域防災力の充実強化において重要な組織であると位置づけており、本育成事業により実効性のある組織運営が必要であると認識している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	幼年、少年、婦人防火クラブの活動を通して、防火・防災意識の向上を図るために継続して育成事業を実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題